

図 自己決定活動の「指導」とは何か(『癒しの生涯学習』発行当時)

項目	①	②	③
現代社会の病理 ・・・癒されない理由	家族関係の病い 不毛な真偽の勝負	教育システムの歪み 画一的物差の内面化	ピアコンセプト みんなの目が怖い
生涯学習の再定義 ・・・自分らしく生きたい	発達とともに癒しも =あるがままの自分	事実よりも真実を 学習ワンダーランド	積極的消極性も大切 =立つ鳥跡を濁さず
個の深みと出会う ・・・開かれた心の持ち方	内容の専門家 =指導主体	方法の専門家 =支援主体	人生の専門家 =学習主体
個と出会えない ・・・閉ざされた心	教条主義 =事大主義	御都合主義 =合理化	敗北主義 =消極的消極
今後のトレンド, ・・・ビジネスも成立	癒しのサンマの提供 =無条件相互肯定	社会貢献の提供 =フィランソロピー	MAZEの提供 =スキゾなプロセス
他者の幸福追求援助 ・・・3大スキル	対話とシンパシー 個の深みとの対話	ストローク 存在の認知の伝達	エンカウンター 異なる枠組と出会う
社会教育における 自己決定の指導	集団動員→個の尊重 →個の回復(主体)	上下同質→水平同質 →水平異質(共生)	行政主導→行政撤退 →公民協働(共育)
ネットワーク型の 指導者の役割遂行	初めの一步を励ます =開きたい心を開く	ミニ・ヒエラルキーを 早めにつぶす	潔い撤退を促す =積極的消極の潔さ